

# レジストーン施工手順（一例）

## 1. 仮置き

施工される前に仮置きを行い、色調や凹凸のバランスを確認してください。

必要に応じて丸ノコ・ダイヤモンドカッターで調整してください。

墨出しをして水系で正確に行ってください。

## 2. 下地処理

下地に付着したレイトンス、油、ホコリ等を除去し、清掃します。必要に応じてプライマー処理を行ってください。

下地処理用モルタルを約2mm程度の厚さでしごき塗りながら均一に広げます。

下地の渴きを防ぐため、30分程度で施工できる面積としてください。

## 3. 接着モルタル付け

石材背面のホコリ等取り除き、接着モルタルを背面に載せ、練りこみ

5～10mm厚で塗りつけます。中央部が周辺より厚くなるようにしてください。

## 4. 圧着（改良圧着張り）

ビブラート等使用し、下地にもみこむようにしっかりと圧着しながら

下部より、積み上げ式改良圧着張りにて施工してください。

## 5. 表面清掃・養生

表面に付着したモルタル等は少し硬化してからブラシ等で掃きとるように落としてください。

（水洗い酸洗いはしないでください。）

養生は雨などにぬれないようにしてください。

## 6. 吸水防止処理

吸水防止処理を行う場合、1週間程度養生させてください。

## レジストーンの安全上の注意

「レジストーン」と下地の接着強度は、直接的または間接的に人体に

危害を及ぼさないために $0.6\text{N}/\text{mm}^2$ （材料破壊）以上としてください。

施工する下地はコンクリート下地またはブロック下地としてください。

コンクリート打継部（水平方向）、大壁（垂直方向）、ひび割れ誘発目地の設置箇所、

その他躯体の挙動が大きくなる場所等の壁面施工時には伸縮目地を設置ください。

湿式工法（樹脂モルタル）のみによる施工の場合は壁面の高さを1.6mまでとしてください。

樹脂モルタルは市販品をご使用ください。

必ず改点圧着張りで行い、下部からの積み上げ方式で施工してください。

水の浸入を防ぐために、施工後必ず吸水防止剤を塗布をお勧めします。

剥離や凍害の原因となる場合がございます。

寒冷地、または凍害の恐れがある場所でのご使用は、ひび等が入る恐れがありますので

ご注意ください。クレーム等に関してお受け致しかねる場合があります。

一例となりますので、現場の状況に合わせてご対応いただきますようお願いいたします。